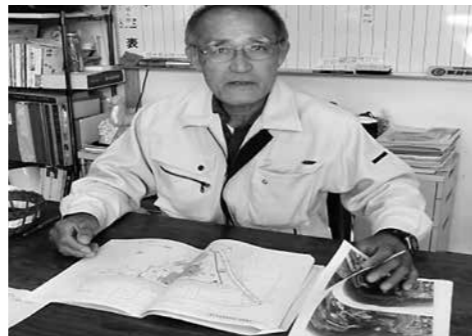


今後の交流施設(公民館)整備事業計画は

新しく建設される公民館は、同区の東側にある村有地・海拔13mを候補地と決定しました。
現在、保安林解除の行政手続き中で許可が下り次第、造成工事を発注する予定です。
建物規模は、鉄筋コンクリート造平屋建て・延べ床面積667㎡を予定し、多目的のピロティと名嘉真区の諸行事に対応できる交流施設を目指します。



名嘉真区長へ状況を伺う

名嘉真区交流施設(公民館)整備事業の状況 平成27年度中に敷地造成完了予定

名嘉真区では、平成17年に公民館建設委員会を立ち上げ早期着工に向け努力しているところです。
そこで、仲嶺真武区長に状況を伺いました。
名嘉真公民館は昭和47年に高等弁務官資金を活用し、当時としては機能的な公民館が建設されました。
43年経過した現在、活動拠点としては手狭で、老朽化もひどく、海拔2mの低地にあることから防災施設の機能も果たせない状況にあります。



高台部分の建設予定地



現名嘉真公民館

記事担当 佐渡山 明

補正 一般会計補正予算(第5号)可決!

いよいよ一括交付金による交流施設(公民館)建設はじまる!

一般会計は、1億3千10万5千円が追加され、総額79億7千618万1千円となりました。

(議案第69号)

歳入

歳入増の主なもの、13款分担保金及び負担金2千775万7千円(前兼久交流施設整備分担保金)、15款国庫支出金1千965万4千円、17款財産収入4千397万円、19款繰入金1千552万円。

委員からの質疑

前兼久交流施設整備分担保金は新築業務の設計業務であります。

土地売却収入は
国道バイパス工事に伴う、4千652㎡の土地売却であります。

歳出

歳出増の主なもの、3款民生費4千191万5千円、8款土木費4千142万3千円、9款消防費1千261万2千円、10款教育費1千287万2千円、11

委員からの質疑

障害福祉サービス等費は
障害者のデイサービス、居宅介護サービスの実績増であります。

配食サービス委託料は
利用者の増であります。
外出支援サービス委託料は
利用者の減であります。
簡素な給付措置は
対象者の減であります。

村道前山線改修工事実施設計業務は

名嘉真から喜瀬武原に抜ける村道で、台風による被害で現在一部片側通行となっております。

金武地区消防衛生組合負担金は

恩納分遣所の移転に伴うもので、北部振興事業の高度化整備事業で予定し、事業費が6億8千300万円(内訳(8/10)は補助で、1億240万円は起債、3千421万2千円について、金武、恩納、宜野座3町村の総額となっております。

教師用指導書は
平成27年度小学校指導用教科書の改訂に伴う教員用教科書であります。

議員からの質問
担当課長からの答弁

記事担当 平良 幸夫

前兼久区交流施設(公民館)整備事業が動く

設計業務は12月25日に入札済み (議案第69号)

恩納村議会定例会(12月定例会)において、平成26年度恩納村一般会計補正予算(第5号)「交流施設設計費含む」が本会議で採決の結果、全会一致で原案のとおり可決されました。



現前兼久公民館

昭和43年に建設された前兼久公民館の老朽化が著しいことから、同区グラウンド敷地に新築するものです。

規模は、鉄筋コンクリート造平屋建て・延べ床面積664㎡を予定。工事は平成27年度に着工し、年度内の完成を目指しています。

前兼久区(金城正則区長)は、早期建設を目指して平成26年11月に臨時区民総会を開催し、公民館建設を決定しています。

いよいよ区民が待ちかねた公民館建設計画が動き出しました。同区の諸活動が活発に展開され、活力ある地域づくりの拠点施設となる事を期待します。そこで、我々議会議員も交流施設が早期に完成すよう協力していきたいものです。

記事担当 佐渡山 明



建設予定地

(富着区)

三月には場所選定



富着公民館は、昭和40年に建設され築50年が経過し老朽化しており、手狭なことから新しい公民館の建設が急がれます。
区では、平成24年7月に公民館建設検討委員会を立ち上げ、平成25年に場所を現在地に絞り基本設計を実施しました。しかし、現在地は海浜の近くであることから、防災施設の機能も果たせないことになり、新たな場所を3月までに選定し建設に向け作業を進めております。

(仲泊区)

一括交付金を活用



仲泊公民館は、一階事務所が昭和33年(築57年)二階ホールが昭和48年(築42年)に建設されました。老朽化に加え手狭であり敬老会など諸行事をあしびな広場で行うなど、交流施設としての役割を果たしてないのが現状であります。
当区では、住民規模に見合った新しい公民館建設が望まれ、平成19年7月に建設検討委員会を立ち上げ作業を進めてきました。しかし区の財政が乏しく実現に至っておりません。今回一括交付金を活用しての建設に向け作業を急いでいるところであります。

記事担当 大城 保